

創意工夫と実践を基礎に 組織の発展を目指そう!



全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3 6
 TEL 06 6583 426
 FAX 06 6583 4600

謹賀新年

港合同 委員長 中村 吉政

港合同組合員の皆さん。
新年あけましておめでと
うございます。

二〇一六年の幕開けに
際し港合同執行委員会を
代表してご挨拶申し上げ
ます。



昨年は戦後七十年とい
う節目の年でした。

昨年九月、安保関連法
案が国会で強行採決され、
戦後、憲法九条を掲げて
平和を守り抜いてきた我
が国の骨格が崩され、日
本が大きく進路を変えた
年になりました。

今後、具体的に戦争遂
行の法案として動き始め
ます。

昨年国会前闘争を闘つ

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|----------|--------|--------|-------|----------|--------|---------|--------|
| 昌一金属支部 | 田中機械支部 | 協和金属支部 | 矢賀製作支部 | 大熊鉄工支部 | 協和機工支部 | 港高周波支部 | 関西警備支部 | 城北地域分会 | ネグロス電工分会 | 南労会支部 | アート・アド分会 | サンコー分会 | イツツヤ分会 | NRB分会 | コーヨー急送分会 | 大輪産業分会 | レインボー分会 | 成和製造分会 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|-------|----------|--------|--------|-------|----------|--------|---------|--------|

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

た多くの団体は、今年も引き続き運動を続けることにしています。

イケイケどんどの安倍政治に橋下らの「おおさか維新」が憲法改正推進政党として参議院選挙で議席を増やし、「自公、お維」で成立をさせようと目論んでいます。

大阪市長退任の翌日には松井知事を伴って三時間にもわたり安倍・菅と懇談という特別待遇のもてなしが行われました。

大阪では、吉村市長が就任し、これまでの対立の市政から、対話を！というようなスタンスに見えますが、大衆扇動政治（柳本顕前市議）は変わ

ることはありません。

そして、就任中にもう一度、「大阪都構想」の住民投票を行うと断言しております。

まるで、おおさか維新の連中というのは、おもちゃ屋の前で駄々をコネ、泣きじゃくる子どものように見えます。

振り返れば、二〇一一年十二月十九日の就任以来の四年間は、異常な労働組合敵視政策により、労働組合として、裁判や労働委員会に申立てをせざるを得ませんでした。

職員アンケート調査や、組合事務所退去、入れ墨アンケート調査、チェッ

クオフ廃止問題、教職員へは学校の使用不許可問題等々、マスコミを最大限活用して一方的な労組批判と各種団体、大阪の文化や歴史継承施設への補助金カット、の公務員と市民を分断することから仕事が始まりました。

不当労働行為は大阪府や中労委で組合側の勝利になっていきますが、奪われた権利は元に戻ることはありません。

ようするに「不当労働行為はやり得」といわれるゆえんです。

竹下さんの入れ墨アンケート調査拒否による懲戒処分撤回の闘いも、二

月の半ばに最後の調整が行われる運びになり、いよいよ人事委員会で判断が出される事になっています。

又、七月には参議院議員の改選が行われることになっており、この結果いかによって、更に国の形が変わっていく可能性があります。

昨年末には、韓国との間で、慰安婦問題の協定が成立したと大々的に報じていますが、被害者抜きでの協定にハルモニや支援団体は怒りを高めています。

安倍総理自身が、過去の侵略戦争を認め、心の底から謝罪し、償いも含

めた中でしか信頼関係は築かれないのです。

総理大臣たるものは個人の信条で政治をせず、恒久的な平和の構築をしなければならぬのです。

非正規労働者が四割近い格差社会の中、労働法制の改悪等、働く者にとって夢のある社会ではありません。

若者が夢を持って働ける社会の実現に今年も奮闘したいと思います。

昨年も多くは労働相談を受け、分会結成を実現しました。

地道な運動ですが、労働組合としての情宣活動は長い目で見れば意味のある行動です。

先人らが築いてきた港合同という財産を私たちが更に前進させ、組織拡大に向けて闘いをすすめるなければなりません。

原発事故の収束もまま

ならない現実の中で九州では再稼働が強行され、関西電力も順次再稼働に向けたシフトを敷いています。

「戦争法案の廃案」の

為に共に闘いましょう。

私たちは、働く者こそが時代を担うのだと自覚を持ちながら、引き続き多くの仲間と連帯し前進しましょう。

各支部・分会から年頭挨拶

地域闘争の前進を糧に組織強化・拡大に向け

二〇一六年、港合同一丸となつてがんばろう！

識(し)る事、声を上げ続ける事

田中機械支部

「テロ」と「難民」

昨年の重要な国際的キーワードだ。

何百万人ものシリア難

民がスマートフォンで位置情報を頼りにヨーロッパ、とりわけドイツを指した。

かつて戦前のヒトラー

政権下で、多くのユダヤ人がアメリカもさることながら、ユダヤとアラブ

双方の聖地である中東パレスチナを指した。現在の逆コースだ。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

ISやアルカイダの非道さと脅威が喧伝される

が、彼らの台頭してきた

根源に大国の利害に基づ

くイラク戦争やアフガン

戦争をみることができ

ホームグロウンテロリス

トといわれる「先進国」

における格差と貧困であ

えぐモスリムの若者をス

カウトし、「聖戦士」に

鍛え上げ、自国に送り返

して「無差別テロ」を引

き起こさせる。ここでも

同様の逆コースがある。

人モノカネが瞬時に国

境を超えるグローバリズ

ムがよくも悪しくもこれ

らを後押しする。

一方「無差別テロ」が「愛国心」を呼びさまし、

移民排斥を叫ぶ極右政党を躍進させる。

第一次世界大戦、第二

次世界大戦の主戦場とな

った反省から欧州統合の理

想を掲げ生み出されたE

Uが政治的にも重大な危

機に直面している。

翻って日本はどうか。

戦争のできる国へと積

極的に脱皮しようとする

動きは年々高まっている。

そのためにも数の力で明

文改憲を成し遂げようと

する動きはひたひたと迫

る。

しかし老若男女、各界

各層の人々が立憲主義の

危機を叫び、立ち上がった。

それぞれの立場から、

SNSなどのツール情報を発信し、互いに追体験

を重ねることでメディア

リテラシーは鍛えられ、

運動は広がり厚みを増

す。

識(し)ること、そし

て声を上げ続けることが

現政権の欺瞞性を打ち砕

く。

す。

業も増え続けています。

港合同の労働相談でもこ

種の企業との闘いが増

えているのではないでしょ

うか。今年も労働組合の

存在意義が問われていま

す。ともに頑張りましょ

う。

昨年も「秘密保護法」

「原発再稼働」「辺野古」

はじめ多くの闘いが続き

ました。とりわけ九月に

強行成立された「戦争法

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

社」のようなブラック企

二〇一六年頭あいさつ
イツツヤ分会

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

案」は老若男女を問わず様々な立場の皆さんが闘いに立ち上がりました。「平和」や「安全」をもてあそび私たちを強引に「いつかきた道」に引きずり込もうとする安倍に対する怒りが爆発したのでしよう。この力を信じ、今年も一步も引き下がることなく闘い続けましよう。

大阪W選挙は残念な結果に終わりましたが、安倍はおそらく自民よりも維新の勝利を期待していたのではないでしようか。その証拠に市長を辞任した翌日に安倍―橋下会談がもたれています。なにをしでかすかわからない

この大うそつきコンビから絶対に目を離さないようにしましよう。

さて我が分会の昨年最大の出来事は、吉本分会員が脳梗塞のため一〇月に開頭手術をしたことでした。年齢的なこともありどうなることかと心配しましたが、二週間で退院、三週間で以前通りの仕事に復帰しました。本当によかった。では彼を

して手術を決定した理由とは何か？それは手術が成功すれば従来通り酒は飲めるが投薬治療だけの場合は今後飲酒は禁止と医者に宣告されたというものでした。のんべえの皆さんはこの気持ち我がことのようによく分かれますよねえ。

本年もよろしくお願います。

時代の大きな転換点に立って

南労会支部

争議全面解決の大阪地裁での和解から早いもので三年近くが経ちます。

昨年、反対運動が盛り上がる中、デタラメな「テロ」事件と関連付けて行なわれた世論調査で

南大阪平和人権連帯会議 団 結 旗 開 き

日時：2016年1月19日(火)18：30より
場所：田中機械ホール

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

は、「共謀罪」新設を必要と考える人が飛躍的に増える調査結果となっております。前国会で継続審議となった盗聴拡大・司法取引導入に共謀罪新設が加わって三つがセットになって運用されると、これまでとは次元の異なるデッチ上げ刑事弾圧が可能となり、想像を絶するような監視・管理社会が実現しかねません。

さらに、残業代ゼロ法案といわれる、労働法制の根幹を揺るがす法案の成立がもくろまれていきます。私たちは、この法案が残業代の支払い義務をなくしてしまうことによつて賃労働制に対し破壊的

効果を与えることを見逃してはなりません。この法案の本質は、「労働の量」を計る基本的基準から「時間」を除外してしまふという点にこそあります。労働者と使用者は、一日の労働時間（労働日）を巡って、数百年にわたって激しい闘いを繰り返してききました。その闘いは、労働者階級と資本家階級の内戦にたとえられような激烈なものでした。労働日の長短を巡る闘いにおいては、「労働の量」を「時間」で計ることが、大前提となっております。この重大な前提を根底から破壊する第一歩となるのがこの法案なのです。

これまで、労働者が闘いの中で獲得し、積み上げてきた「一日の労働時間の制限・短縮」という成果をなきものにしかねない極めて危険な法案です。絶対に成立を阻止しなければなりません。

さて、私たちは、ユニオンネットに結集する労働組合等の仲間とともに「介護事業分野における新たな組織化」という課題に取り組んできました。昨年五月には介護保険に関する学習会を開催し、八月には厚労省交渉を実現し、十一月には大阪市の懇談会を行ないました。本年二月十二日には学習会開催を予定してお

港合同・団結旗開き

日時：2016年1月22日(金) 18時より

場所：田中機械ホール

り、この課題の前進のために努力を積み重ねていきたいと思います。

「南労会設立の趣旨を踏まえた松浦診療所の存続・再建」及び「労働者事業として開始したNPOみなど合同ケアセンターの

アード分会

新年あけましておめでとうございます。

早いもので会社が閉鎖してから、いつの間やら丸一〇年が過ぎました。あと少しで、今までの人生の半分は港合同の組合員として過ごしてきたということに。私が忘れっぽいからかもしれないが、長いよ

運営・経営面での強化・発展」という南労会支部に課せられた二つの重要な課題についても引き続き取り組んでいかなければなりません。本年もよろしく願います。

うで短い年月でした。だからこそ、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

そして、こんな時代だからこそ前を向いて笑顔

を忘れずに。本年ももちつき実行委員の活動など、微力ながらがんばりますので、長澤さん共々どうぞよろし

くお願いいたします。

K・T

あけましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

昨年は秘密保護法施行、戦争法（安保法制改悪）が成立し、原発も福島であれだけの大事故を起こしながら、川内の次は高浜と再稼働への動きが加

昌一金属支部

港合同各支部・分会の仲間の皆さん、新年明けましておめでとございます。

昨年春闘や夏冬の一時的闘争における我が支部の構内集会・デモへの結集をはじめ、様々な組

速しています。共謀罪なども国会にまたまた提出されると聞いています。体は一つ課題は山盛り。一人では無理ですがみんなで力を合わせて少しでも良い世の中になるよう頑張っていきましょう。

N・T

織運営に対してご指導・ご鞭撻をいただいたことに改めて感謝を申し上げます。次第です。

さて、社会全体を見渡せば、中東や東欧、東アジアをめぐる戦争の惨禍が拡大しており、日本

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

でも安倍政権が安保関連法の制定を強行し、改憲＝戦争する国への変貌を急いでいます。一方で派遣法の改悪を突破口に、民営化と外注化、総非正規職化を狙い、労働者に非正規化と貧困を強制しようとしています。

これは今日の恐慌情勢の深まりの中で、資本だけが生きられる社会にしようとするものです。そのためには何の反省もなく原発の再稼働、原発輸出を進め、武器輸出の推進に全力をあげ、さらには改憲・戦争へとかかりたてているのです。

の闘いが燃え広がった年でもありました。五月沖縄県民大会における辺野古新基地建設反対の五万人決起、安保国会をめぐる国会前十二万人をはじめ全国の闘い、福島の前原を軸とする反原発の闘い、そして大阪でも都構想をめぐる住民投票で廃案＝橋下市長を退陣に追い込んだ闘いです。

いずれも根底で支えているのは労働組合の存在です。組織された労働者の闘いと地域住民の闘いが結合して、敵の思惑を阻止したし、阻止しているのです。

今、隣の韓国では、民主労総が軸となって、

あらゆる階層を団結させ、パククネ政権を徹底的に追い詰めるゼネストを数波にわたって闘い抜いています。日韓労働者にかけられている攻撃も問われて闘いも同じだと感じています。

港合同の歴史は、企業の塀をこえた地域丸ごとの団結と、官民連帯のように職種や産別の違いを超えた連帯によって、不可能を可能にし、資本や権力を徹底的に追い詰めて、勝利してきた歴史です。労働者の団結にのみ依拠し、執念をもって闘えば必ず勝利できることを実践してきました。この地平が、入れ墨処分へ

ピョンヤン宣言のすみやかな履行と日朝国交正常化の早期実現！！

日朝友好（西・港・大正）新春の集い

日時：2016年2月19日（金）18：30～

場所：港区民センター 大ホール

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

の反撃をはじめ、官民労働者の連帯を拡大し、橋下市長の民営化と組合つぶしの攻撃を阻止したのです。安倍や橋下が何をやってもうまくいかないのは、労働組合を解体できていないからです。

二〇一六年は、労働組合こそが職場と地域で力強く闘い、周辺の未組織職場に労働組合の旗を立てることだと思えます。港合同の組織強化・拡大が最大の反撃です。資本も政権も、労働者や地域住民の生活と権利をとことん破壊しながら、団結して反撃されることを死ぬほど恐れているからです。その意味では二〇一

二年春闘から開始した水曜行動・弁天町駅前街宣の果している役割は重要です。

我が支部をめぐっても、ユーザーである電力の大再編が激化し、これまでの延長ではいかなない情勢です。原発の再稼働、電

力の全面自由化（八兆円市場の創出）がどのようになりませんが、如何なる事態にも立ち向かえる支部の団結と地域の連帯の強化に、一層の努力を傾注したいと思えます。

企業の塀をこえて、港合同として一つに団結して、改憲・戦争の安倍政権打倒！外注化・非正規職化・組合つぶしを許さず、官民連帯・地域共闘で、共に闘っていく決意です。本年もよろしくお願ひします。

新分会紹介 成和製造分会

成和製造所は、一九七四年創業の堺のステンレス鋳物会社です。

昨年九月ごろ、労働者が職場で腰を痛めますが、会社は「労災にしてくれるな」と手

続きをせず、十二月に入ると突然、理由なく解雇を通告してきたのです。

相談を受けてオルグ団でただちに会社へ赴いて団交を行い、労災手続きの不備などを指摘し、解雇を撤回させました。

会社内では、賃金と月の途中で支給される諸手当があり、中身は不明確で、有給休暇を使用すれば皆勤手当がカットされるなどあり、一時金交渉の中で、撤回させました。

経営者が恣意的になんでも決めてきたあり方から労使の明確なルールづくりに向けて、分会を結成して奮闘しています。

新しい分会の仲間の結集を歓迎し、全力で支え、共に闘っていきましょう。